

第15回「総合的な学習の時間」

発表原稿とスライドについて



芝浦工業大学柏中学高等学校

本時の内容

1. LIFEログ
2. 発表原稿とスライドについて
3. 今後の予定

本時の内容

1. **LIFEログ**
2. 発表原稿とスライドについて
3. 今後の予定

「LIFEログ」の目的

日々の気づきを記録する、そして次に活かす



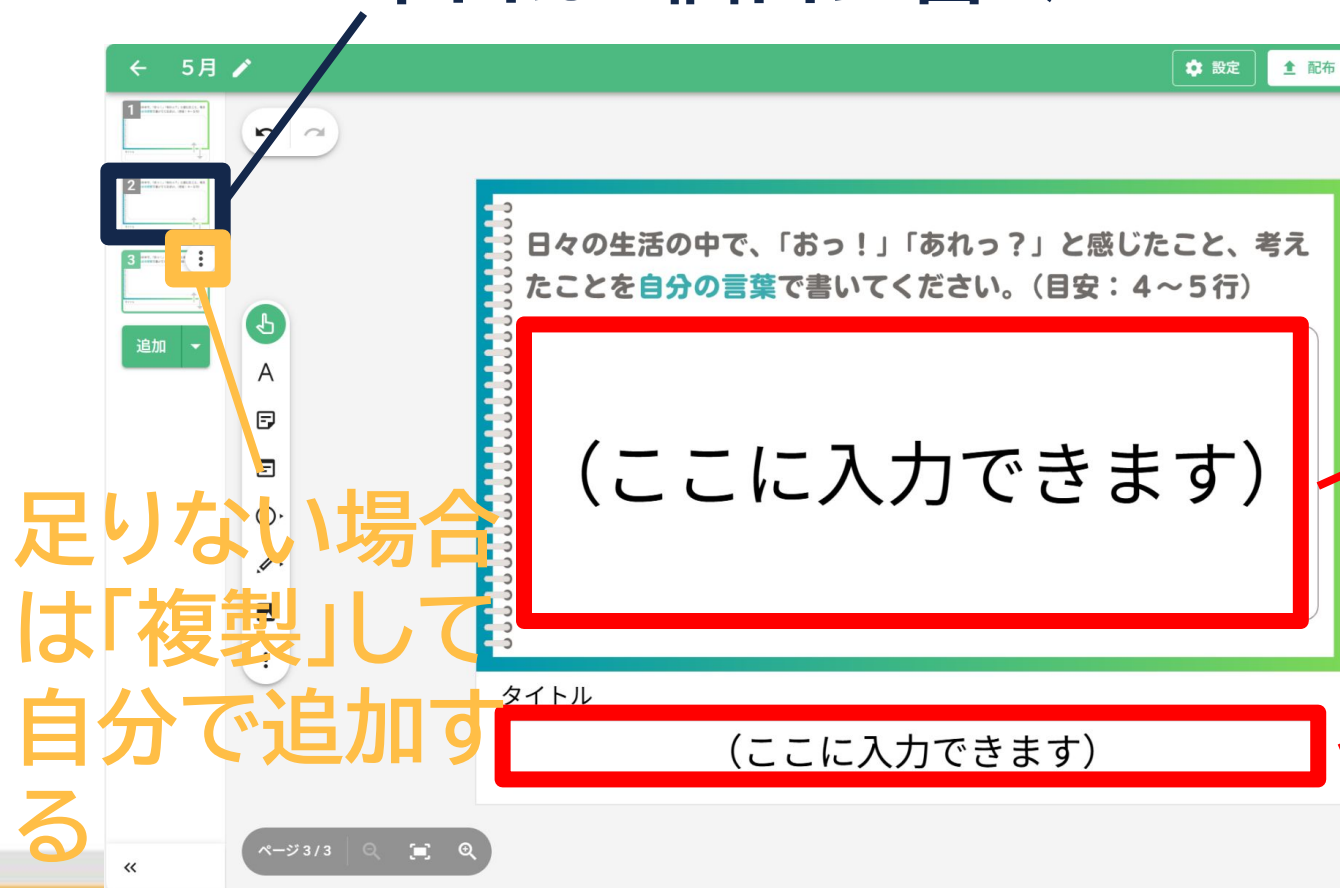
「LIFEログ」の実施方法

🕒 10分

総学の授業で、毎回10分程度、スクールタクトに入力する時間を設ける

本日は1個目に書く

「総合的な学習/探究 LIFEログ」
→「10月」の課題をクリック！



日々の生活の中で、「おっ!」「あれっ?」と感じたこと、考えたことを自分の言葉で書いてください。(目安: 4~5行)

(ここに入力できます)

タイトル

(ここに入力できます)

足りない場合は「複製」して自分で追加する

ここに本文を入力

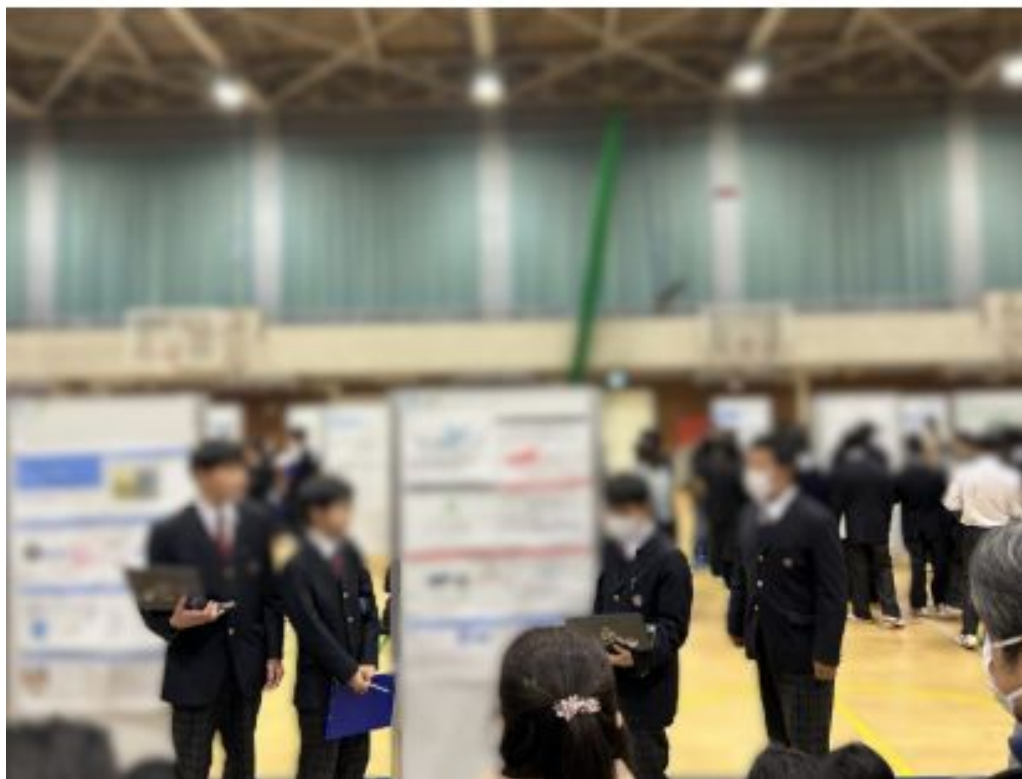
タイトルも忘れずに!

本時の内容

1. LIFEログ
- 2. 発表原稿とスライドについて**
3. 今後の予定

探究Dayについて

体育館でポスターセッション形式で実施する



- ポスターセッション形式
- 発表時間6分
- 質疑応答6分

スライドの構成

以下の構成で、A3用紙8枚で作成する(※デザインは自由)

- ① タイトル
- ② 研究背景
- ③ 目的・リサーチクエスチョン
- ④ 本論(3枚)
- ⑤ 結論・今後の展望
- ⑥ 主な引用・参考文献

発表スライド例

その名は日本一停留所の多い路線バス

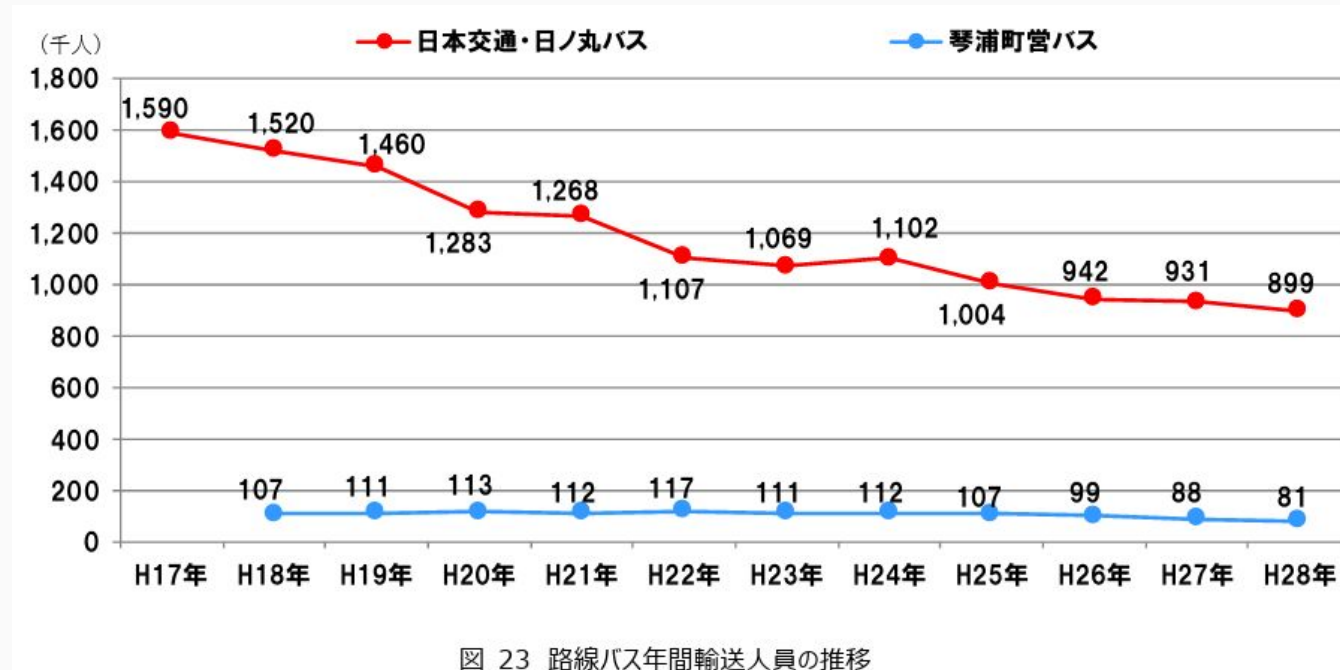
～1800円でつなぐ鳥取横断ぶらり途中下車の旅～

氏 名

学校名 2年

◆鳥取県における路線バスの現状

日本交通と日ノ丸バスの4条路線の利用者数は年々減少傾向にあり平成26年には100万人を下回っている(鳥取県中部地域公共交通協議会 2018)



目的・リサーチクエスト

◆目的

利用者の減った公共交通でも、僅かな工夫を加えることで利用者を獲得できる可能性が地方でもあることを伝えたい！



◆リサーチクエスト

鳥取県において、八木新宮線のような話題性を生み、かつ利便性を高めた利用者増加につながるバスルートに乗務員不足の問題に配慮しながらつくるにはどのようにすればよいのか？

1

新路線の時刻表 作成

運行本数や乗務員数を変える必要がないよう考慮しながら、既存ダイヤを熟知した上で、既存の路線を繋げて路線を新設する場合の時刻表を実際に作成する

2

運用表の作成

厚生労働省労働基準局発行『バス運転者の労働時間等改善基準のポイント』を熟知した上で、この基準に沿って運用することが可能であることを運用表を作成し確認する

3

路線新設による 効果の考察

今回通過するバスルートなどから周辺の施設や運行時刻を考慮した上で、路線新設による効果を考察する

結論



利用者の減少が続く鳥取県の路線バスであるが、僅かな工夫によって今ある資源を活用しながら話題性を生む路線バスが新設できる可能性が高いことが分かった。

今後の展望



今後は、具体的な需要予測やさらに利便性のよいダイヤ作成等を行っていきたい。

主な引用・参考文献

- 岡本尚也(2024).『ゼロから始める探究活動 課題研究メソッド ZERO』.啓林館
- 鳥取県中部地域公共交通協議会(2018). 鳥取県中部地域公共交通網形成計画p18.
<https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1116048/tyubumoukeiseikeikaku.pdf> (参照2026-7-29)

発表原稿について

クラスのClassroomに課題「【提出用】発表原稿」を配信

- ① タイトル・自己紹介・挨拶
- ② 研究背景
- ③ 目的・リサーチクエスチョン
- ④ 本論
- ⑤ 結論・今後の展望
- ⑥ 締めくくり

発表原稿	
タイトル:「 1年____組____番 氏名_____」	<本論(その3)>
<タイトル・自己紹介・挨拶>	<結論・今後の展望>
<研究背景>	<締めくくり>
<目的・リサーチクエスチョン>	
<本論(その1)>	
<本論(その2)>	

① タイトル・自己紹介・挨拶

まずはタイトルと自己紹介、そして挨拶を元気よく

これから〇〇〇というタイトルで発表を始めます。

芝浦工業大学柏中学校2年の氏名です。

よろしくお願いします。

② 研究背景

「つかみ」と「背景」

- つかみ
 - 問いかけ、興味深い話、意外な話など
- 研究背景
 - 初めて聞く人でもわかるように、そのテーマの背景や説明の前提となる情報を提示し、説明のための基盤をつくる

③ 目的・リサーチクエスチョン

「目的、動機、意義」と「リサーチクエスチョン(何を明らかにしたいのかを示す問い)」

- 探究の目的、動機、意義
 - どうして、そのテーマを選んだのか、そのテーマに興味を持ったきっかけを伝える
 - どのような貢献が期待できるか
- リサーチクエスチョン
 - 探究活動全体で何を明らかにしたいのかを示す問い

④ 本論

Webページの内容をなるべく簡潔に(スライド3枚分)

- 初めて聞く人でもわかるように
 - 重要語句の定義
 - 専門用語の説明
- リサーチクエスションに対する答えへの道のり
 - どのように調べましたか？

⑤ 結論・今後の展望

「結論や探究のまとめ」と「今後の展望」

- 結論
 - リサーチクエスチョンに対して明らかになったこと
- 今後の展望
 - 今後さらに調べたいこと・生じた疑問
 - 探究する前の自分と後の自分で変わったこと

⑥ 締めくくり

締めくくりは手短に

……………主な参考文献はこれらを使用しました。

これで発表を終わります。

ありがとうございました。

本時の内容

1. LIFEログ
2. 発表原稿とスライドについて
- 3. 今後の予定**

今後の予定

次回の授業までに発表原稿を完成させてください！

第15回	発表原稿作成
第16回	スライド作成 (※発表原稿完成)
第17回	発表練習 (※スライド完成)
第18回	探究Day